

令和3年5月20日 開会  
令和3年5月20日 閉会  
(臨時第4回)

# 大山町議会会議録

(副本)

大山町議会

大山町告示第 133 号

令和 3 年第 4 回大山町議会臨時会を次のとおり招集する

令和 3 年 5 月 17 日

大山町長 竹口 大紀

- 1 日 時 令和 3 年 5 月 20 日（木） 午前 10 時 00 分
- 2 場 所 大山町役場議場
- 3 付議事件 議案第 54 号 令和 3 年度大山町一般会計補正予算（第 2 号）  
議案第 55 号 令和 3 年度大山町国民健康保険診療所特別会計補正予算  
(第 1 号)

議員派遣について

---

○開会日に応招した議員

小 谷 英 介	西 本 憲 人
豊 哲 也	島 田 一 恵
森 本 貴 之	池 田 幸 恵
門 脇 輝 明	大 原 広 巳
大 杖 正 彦	大 森 正 治
杉 谷 洋 一	近 藤 大 介
吉 原 美 智 恵	岡 田 聰
野 口 俊 明	米 本 隆 記

---

○応招しなかった議員

なし

---

---

第 4 回 大 山 町 議 会 臨 時 会 会 議 録

令和 3 年 5 月 20 日 (木) 午前 10 時

---

議 事 日 程

令和 3 年 5 月 20 日 (木) 午前 10 開会 (開議)

1 開会 (開議) 宣告

1 議事日程の報告

日程第 1 会議録署名議員の指名について

日程第 2 会期の決定について

日程第 3 議案第 54 号 令和 3 年度大山町一般会計補正予算 (第 2 号)

日程第 4 議案第 55 号 令和 3 年度大山町国民健康保険診療所特別会計補正予算  
(第 1 号)

日程第 5 議員派遣について

---

本日の会議に付した事件

議事日程に同じ

---

出席議員 (16 名)

1 番	小 谷 英 介	2 番	西 本 憲 人
3 番	豊 哲 也	4 番	島 田 一 恵
5 番	森 本 貴 之	6 番	池 田 幸 恵
7 番	門 脇 輝 明	8 番	大 原 広 巳
9 番	大 杖 正 彦	10 番	大 森 正 治
11 番	杉 谷 洋 一	12 番	近 藤 大 介
13 番	吉 原 美 智 恵	14 番	岡 田 聰
15 番	野 口 俊 明	16 番	米 本 隆 記

---

欠席議員 (なし)

---

欠員 (なし)

---

事務局出席職員職氏名

局長 …………… 野 間 光 書記 …………… 三 谷 輝 義

---

説明のため出席した者の職氏名

町長 ……………竹 口 大 紀      教育長 ……………鷺 見 寛 幸  
副町長 ……………小 谷            章      総務課長 ……………金 田 茂 之  
財務課長……………井 上            龍      企画課長 ……………源 光            靖  
住民課長……………永 見            明      福祉介護課長 ……………池 山 大 司  
健康対策課長 ……………末 次 四 郎

---

午前 10 時 開会

○議長（米本 隆記君） おはようございます。

開会前に、議員の皆さんと 執行部の皆さんに申し上げます。例年、クールビズへの取り組みが行われているところですが、本町議会におきましては、5 月 1 日から 10 月 31 日まで、上着・ネクタイの着用は、本人の自由といたしますので、よろしく お願いしたいと思います。

---

○局長（野間 光君） 互礼を行います。ご起立ください。一同礼。着席。

---

開会・開議・議事日程

○議長（米本 隆記君） ただいまの出席議員は、16 人です。

定足数に達していますので、令和 3 年第 4 回大山町議会臨時会を開会します。

これから本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

---

日程第 1 会議録署名議員の指名について

○議長（米本 隆記君） 日程第 1、会議録署名議員の指名を行います。

本臨時会の会議録署名議員は、会議規則第 125 条の規定によって、3 番 豊哲也議員、4 番 島田一恵議員を指名します。

---

日程第 2 会期の決定について

○議長（米本 隆記君） 日程第 2、会期の決定についてを議題にします。

お諮りします。本臨時会の会期は、本日 1 日限りにしたいと思います。

ご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（米本 隆記君） 異議なしと認めます。

したがって、会期は本日 1 日限りに決定しました。

---

### 日程第 3 議案第 54 号

○議長（米本 隆記君） 日程第 3、議案第 54 号 令和 3 年度大山町一般会計補正予算（第 2 号）を 議題とします。

提案理由の説明を求めます。竹口 大紀町長。

○町長（竹口 大紀君） おはようございます。それでは提案理由の説明をさせていただきます。

令和 3 年度大山町一般会計補正予算（第 2 号）については、新型コロナウイルス感染症拡大に対応する経済対策や低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の給付、ワクチン接種事業に係る経費などを計上するため、既定の歳入歳出予算の総額に 5,606 万 5,000 円を追加し、歳入歳出予算の総額を 99 億 934 万 7,000 円とするものであります。

補正予算の主な内容といたしましては、新型コロナウイルス感染症に対応する経済対策として、感染症の影響を受けている事業者の経営転換に向けた動きを支援する「大山町販路拡大支援補助金」及び「大山町飲食店等事業展開サポート補助金」の実施、低所得の子育て世帯への特別給付金、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業の増額などを計上しております。

以上で提案理由の説明を終わります。

○議長（米本 隆記君） これから質疑を行います。質疑はありますか。

○議員（15 番 野口 俊明君） 議長、15 番。

○議長（米本 隆記君） 15 番 野口議員。

○議員（15 番 野口 俊明君） この新型コロナワクチンの予算のことについてお伺いいたします。

今回補正があったわけでありますが、この補正によって何名の接種が町内全体で可能になるんですか。そこをお伺いいたします。

○健康対策課長（末次 四郎君） 議長、健康対策課長。

○議長（米本 隆記君） 末次健康対策課長。

○健康対策課長（末次 四郎君） お答えいたします。

現在のところ高齢者の方、約 6,200 名の方を対象に行っておりますが、今後、16 歳以上の方を対象に行っていくということとなりますので、その人数につきましては約 1 万 4,000 人の方を対象に行っていくことを想定はしておりますけれども、まだまだ予算としまして不十分な面があるやも分かりません。その点につきましてはまた今後、改めて補正予算で対応させていただくと、お願いをするということもあろうかと思っております。以上です。

○議員（15 番 野口 俊明君） 議長。

○議長（米本 隆記君） 15 番 野口議員。

○議員（15番 野口 俊明君） 1万4,000人がこの予算によってできるということは、本当ですか。何か、位っていう考えているような。ちょっと、きちんとした人数の把握でないような気がするんですけど。それから、今度、16歳以上がそれがまた低年齢化も接種ができるようなこともちょっと今あるようですけど、そこら辺についての今後の今の国の方等の予想というものはどうなんですか。

○健康対策課長（末次 四郎君） 議長、健康対策課長。

○議長（米本 隆記君） 末次健康対策課長。

○健康対策課長（末次 四郎君） 予算につきましては、今年度当初に組まさせていただきましたものもございます。そして、令和2年度からの繰越しの分もございますので、それを総じて、今後の接種事業に向けて、その予算を活用して接種を進めていくというふうな考えでおります。

それと、接種対象のその低年齢化でございますけども、そういった報道等もございますが、具体的な話はまだ全くきておりませんので、低年齢化については、今後、現在のところは、まだ情報としては持ち得ておりません。以上です。

○議員（15番 野口 俊明君） 議長。

○議長（米本 隆記君） 15番 野口議員。

○議員（15番 野口 俊明君） だいたい分かりました。今までの予算全て合わせて1万4,000人ぐらいができるということでしたけど、接種をしたくない人ということもあるということですね。それについて、町としての今後対策というものはどういう考えを持っておられますか。

○健康対策課長（末次 四郎君） 議長、健康対策課長。

○議長（米本 隆記君） 末次健康対策課長。

○健康対策課長（末次 四郎君） ワクチン接種につきましては、この新型コロナウイルス感染症の感染予防に非常に効力のあるものだというふうに考えております。

ただ一方、議員おっしゃられますように、各個人の中でいろいろなリスク、副反応等を心配されて希望されないということがあっているのは、それも当然あることでございます。

引き続き町としましても、リスクの情報を提供なりさせていただきまして、そのコロナワクチンの効果とリスクの情報は提供させていただいて、接種率の向上に向けて行っていきたいというふうに考えております。以上です。

○町長（竹口 大紀君） 議長。

○議長（米本 隆記君） 竹口町長。

○町長（竹口 大紀君） これについてということですがけれども、野口議員御指摘のとおりで、接種率を高めていくというのは非常に大切であろうというふうに思っております。当初想定で、これは全国で世論調査等を活用しながら、大体6割ぐらいの接種率を見込

んで計画を立てて進めておりましたが、現在のところ予約の数でいきますと、高齢者接種で大体 85%の接種率に大山町はなろうかというところです。

これは恐らく、全国平均よりも高い接種率になるのではないかなというふうに考えておりますし、中には、接種を受けないという選択肢ではなくて、受けられないような方もいらっしゃると思いますので、そういう方たちのためにも、集団免疫を獲得していくというのは必要であろうというふうに思っております。この接種率が 85%というところは、専門家でないので、分かりませんが一般的に言われているところでは、集団免疫を獲得するには十分な数字であろうというふうに思っております。ワクチンを受けたくても、受けられない方というのもいらっしゃるというような想定で早く、新型コロナウイルスが鎮静化するように努めていきたいというふうに考えております。

○議員（13 番 吉原 美智恵君） 議長、13 番。

○議長（米本 隆記君） 13 番 吉原議員。

○議員（13 番 吉原 美智恵君） 同じくワクチンについて質問いたします。

予防費の中に、ワクチン接種会場運営スタッフ業務委託料も含まれているわけですが、実際に今もう始まっているわけですが、障害のある方とか歩行困難な方についての対応はどのようになっているのか。

そして、今まで受けられた、接種人数が、従事者も含めて 699 人のようですが、その方々がいろいろと副作用とかそういうものがなかったか。その 2 点をお尋ねいたします。

○健康対策課長（末次 四郎君） 議長、健康対策課長。

○議長（米本 隆記君） 末次健康対策課長。

○健康対策課長（末次 四郎君） まず最初に障害のある方でありましたり、歩行が困難な方でございますけども、接種会場におきましては、車椅子も用意しております。また車椅子がなくても、例えば杖を使われている方がいらっしゃいましたら、そこはスタッフのほうでフォローをさせていただくというような対応をとらせていただいております。

それとあと、副反応のことでございますけども、先ほど議員おっしゃいましたのは、高齢者施設の方々の分、入所者の方、従事者の方でございますが、現在のところは副反応は発生したというような具体的なことまではちょっと聞いてはおりません。

○議員（13 番 吉原 美智恵君） 議長。

○議長（米本 隆記君） 13 番 吉原議員。

○議員（13 番 吉原 美智恵君） はい。一つは接種会場のことですが、そのことが分からなくて、申し込まれた方の中で町民さんが、夫婦で行かれるんですけれども、1 人の方は夫ですが、歩行困難で会場からどうなってるだろうかっていうことで多分車椅子あるだろうと思いましたが、そういう疑問を持たれた方がおられまし

たので、やはりそういう説明は要るかなと思いますので、お知らせしてほしいと思います。

それから、アナフィラキシーという症状を持った方があります。その辺でちゅうちょされている理由になっているかなと思うので、その辺についての副作用についての、何か全国事例とかそれからそういう情報があったらいいかなと思います。

そういう2点をもう一度、質問いたします。

○健康対策課長（末次 四郎君） 議長、健康対策課長。

○議長（米本 隆記君） 末次健康対策課長。

○健康対策課長（末次 四郎君） 車椅子の設備でありましたり、そういった情報は今後流させていただきたいというふうに考えております。

あとアナフィラキシーの件でございますが、そういった副反応に関する情報は、対象者の方には、説明文として同封させていただいておりますけども、そういったものをご覧いただきたいということも一つございますし、より専門的なことを心配されるということでございますら、例えば、かかりつけのお医者さんもあるのではなかろうかと思っておりますけども、そういった先生方に御相談をしていただく。または、より専門的なことと言いますと、県のほうでも、看護協会のほうで、コールセンターも設けられておりますので、そういった相談窓口もご活用をいただけたらなというふうには考えております。以上です。

○議員（9番 大杖 正彦君） 議長、9番。

○議長（米本 隆記君） 9番 大杖議員。

○議員（9番 大杖 正彦君） この新型コロナワクチン接種について、予算の関係でお尋ねいたします。

私はワクチン接種の展開について、3月定例会でも一般質問させていただきました。

そのとき、町長の答弁は、国、県からの配布がまだ不明なので、それで分からない、準備出来ないという、無責任に近い答弁がありました。現在、健康対策課の報告で、対象者に対して85%に近い申込みがあるということで、非常に順調に進んでいるということが分かって非常に安心しております。

予算の内容を見ますと、接種の体制確保事業と、それからワクチン接種事業、実際始まってからの事業、それには診療所の先生方に対する報酬も含めて、2段階に分けられていますが、その中で準備、確保事業の中でも、それから第2段階においては、既に始まっておりますが、接種事業で実際に接種の作業に当たっている方の職員、医師の方も含めて、その方の報酬も含めて出てる上にですね、先ほど全協での説明で、委託料ということについて議員のほうからお尋ねがあった時に、県内の人材派遣会社を予定している。が、まだ詳細については分からないという答弁でした。

それにしましては、準備段階接種体制確保事業で、総額2,000万円の予算がある中で、

委託料にかかる経費がそれぞれワクチン輸送業務委託で 290 万、約ですね、それから接種予防受付業務委託で 613 万、接種会場運営スタッフ業務委託で 724 万という少し準備に掛かる体制の報酬が出てる割には、こういった委託料の額が多いような気がするんですがこれについてどう考えますか。

○健康対策課長（末次 四郎君） 議長、健康対策課長。

○議長（米本 隆記君） 末次健康対策課長。

○健康対策課長（末次 四郎君） 今後、ワクチン接種を進めていく上におきまして、例えば、現在集団接種の会場におきましては、町の職員も協力して接種会場を運営しております。そのようななか、例えば、人材派遣の方々にお世話になることによりまして、町の業務、従来の分もあるわけでございますので、そういった町の職員に変わりにまして人材派遣の方々にお世話になれたらというふうな考えでございますが、これも集団接種なり、場合によっては、個別接種ということもあろうかと思えます。それを円滑に進めていくために、それぞれ業務の委託をやはり外注できるところは外注をしまして、少しでも接種業務を進めていく。住民の方に安心して接種を受けていただくような環境を整える、そのためにも必要と考えまして、このたび予算計上をさせていただいたというものでございます。以上です。

○議員（9 番 大杖 正彦君） 議長。

○議長（米本 隆記君） 9 番 大杖議員。

○議員（9 番 大杖 正彦君） これからさらなる個別接種とかいうような状態を考慮しての予算ということですが、既に接種業務が始まっております。現在、60%の予定数に対して、予約件数がそれをさらに上回るような状況で、何か派遣会社にさらなる支援を求めるような困った状態なのか、そういう現状はどうなってますか。

○健康対策課長（末次 四郎君） 議長、健康対策課長。

○議長（米本 隆記君） 末次健康対策課長。

○健康対策課長（末次 四郎君） これからワクチン接種も現在、4 月、5 月の 2 か月経ちましたですけれども、まだまだなど長丁場になっていくことが想定されます。そんな中、町の職員だけでは限界が来るということも考えられます。そこを補っていただくという意味合いにおきまして、例えば、このたび計上させていただきました人材派遣のスタッフの方々にも、協力していただきまして、一緒になって、この接種業務を、先ほどの繰り返しになりますけれども、円滑にこれからも進めていかせてもらいたいという思いで、このたび計上をさせていただきました。以上です。

○議員（9 番 大杖 正彦君） 議長。

○議長（米本 隆記君） 9 番 大杖議員。

○議員（9 番 大杖 正彦君） これからの作業を円滑にするためということですが、10 分の 10 の国の予算で、町の一般会計からの拠出がないということで、もらえる

ものがもらえるという感覚じゃなくて、よりスムーズにより効果的な予算配分をすることの意味で、これからの作業内容を吟味した上での予算の、補正予算の提出にさせていただきたいところをお願いします。

それについては町長のほうからがいいですね。

○町長（竹口 大紀君） 議長。

○議長（米本 隆記君） 竹口町長。

○町長（竹口 大紀君） お答えします。委託料は、人材派遣会社等の人材派遣の予算、補正させてもらってますが、現状で何とか職員で回せないかということで、健康対策課の職員を中心に、他の課からも職員を出しながら何とか回しているところでありまして、けれども、中心的に関わる職員をはじめ、職員全体にかなり今負担がかかっています。それは、時間外勤務の長さというところで現れてきているところでありまして、現在高齢者接種、7月中には2回目接種完了予定でおりまして、その後64歳以下の接種も始まっていくわけですが、これが9月になるのか、10月になるのか分かりませんが、かなり長い期間続いていくということでこの負担をかけた状態で、職員をずっと勤務に当たらせるというのは限界が来るというのが目に見えておりますので、そこを緩和するために、もう少し人材を増やすというような考えであります。

で、他の課から回してくるのにも限界がありますので、このたびこういった予算を組まさせていただいているところでありまして。今後もワクチン接種の状況を見ながら、より持続可能な形で接種がスムーズに進むように体制を組んでいきたいというふうに考えております。

○議員（10番 大森 正治君） 議長、10番。

○議長（米本 隆記君） 10番 大森議員。

○議員（10番 大森 正治君） 今の内容と同じ内容で、関連して質問をさせていただきたいんですけども、先ほど答弁で、大分分かってきたんですけども、今の接種体制確保の事業について質問します。

私も実は、母を連れて保健福祉センターのほうに行ったんですけども、健康対策課の皆さん総出でやっていらっしゃるのかなあとと思ったら、他の課からもという今の町長の答弁があったんですけども、非常に大変そうでした。これ、一般の業務どうなるんだろうなっていうちょっと心配はしました。かなり抜けられると大変だなということで、それでさっきの、人材派遣会社からの委託というのが、から派遣されるということが分かったわけですけども、三つの業務がありますが、それぞれ何人ぐらいを予定されているんですか。まずそれ質問します。

○健康対策課長（末次 四郎君） 議長、健康対策課長。

○議長（米本 隆記君） 末次健康対策課長。

○健康対策課長（末次 四郎君） まず最初に、日常業務につきましては、想定としまし

ては、例えば運送会社に業務として委託するというものでございますので、特段何人ということとはございません。

あと、二つ目の予約受付業務につきましては、想定としましては、予算計上としましては5人分でございますけども、総勢6名の人材派遣のスタッフで行っていきたいというふうに考えております。当初予算もございますので、当初予算も含めまして6人でございます。それと、会場運営スタッフにつきましては、10人を想定しております。

以上です。

○議員（10番 大森 正治君） 議長。

○議長（米本 隆記君） 10番 大森議員。

○議員（10番 大森 正治君） ということは、今までは職員だけで対応していたけども、新たに人材派遣会社のほうからの支援を受けるということになるようですけども、かなりこれで余裕が出来て、一般業務にも支障がないというふうには、十分見込んでいらっしゃるわけですか。

あるいは場合によっては、まだまだ一般業務にも支障が出てきているので、あるいはこの接種が円滑に行えないのもっと人材派遣のほうからの増加もあるかもしれないということも予想されているんでしょうか。どうでしょうか。

○健康対策課長（末次 四郎君） 議長、健康対策課長。

○議長（米本 隆記君） 末次健康対策課長。

○健康対策課長（末次 四郎君） まずはこれさせていただきまして、その上でやってみまして支障が出ましたら、また次の改善策といいますか、そういったものを、場合によっては検討していきたいというふうには考えております。

○議長（米本 隆記君） よろしいですか。

○議員（5番 森本 貴之君） 議長、5番。

○議長（米本 隆記君） 5番 森本議員。

○議員（5番 森本 貴之君） 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業について御質問いたします。

予算書で言いますと、4ページ5ページになります。予防費、給料として会計年度任用職員給料、フルタイム会計年度職員給料として236万3,000円計上されております。これは新たに、会計年度任用職員さんを雇用するということの予算化でございますが、臨時会前の全員協議会の説明の中で、共済費の部分ですね、社会保険料、フルタイム会計年度任用職員分ということで33万3,000円の減額ということの予算が出ております。これ説明の中で当初見込みとしては2名を想定していたという御説明でありました。

まず当初というのはいつのことなんでしょうか。併せまして、当初見込みが2名であったのに対して、雇用は1名になったその背景、御説明願います。

○健康対策課長（末次 四郎君） 議長、健康対策課長。

○議長（米本 隆記君） 末次健康対策課長。

○健康対策課長（末次 四郎君） 当初といいますのは、令和3年の4月でございます。

それと雇用2名が1名という話ですけども、フルタイム職員としましては、当初雇用は2名の予定だったんですけども、1人追加で3名とするということでございます。

ただ、フルタイム職員の中で、社会保険料を払う職員が、職員の中でいろいろございまして、社会保険料の負担が伴う職員が、2名だったのが1名になったということでございます。以上です。

○議員（5番 森本 貴之君） 議長。

○議長（米本 隆記君） 5番 森本議員。

○議員（5番 森本 貴之君） この接種体制確保事業の財源はですね、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業国庫補助金として国10分の10の予算になっております。

この接種事業は今後、長期スパンで続いていくと思いますが、フルタイム会計年度任用職員さんの雇用でありますとか、関連予算として委託料、人材派遣への委託等の予算もこの事業に含まれております。この先、長期スパンになる事業ですので、今後事業推進に当たって新たな課題等も上がってくるものと思いますが、その都度この補正で対応していけるような体制を想定しておられるのかおられないのか。その都度補正で対応していくという想定をされているのであれば、この体制確保事業に対する国庫補助金ですね、いつ頃まで受けていただけるのか、その辺の状況の確認をしたいと思います。

○健康対策課長（末次 四郎君） 議長、健康対策課長。

○議長（米本 隆記君） 末次健康対策課長。

○健康対策課長（末次 四郎君） 議員仰いましたように今後長丁場になります。そんななか、新たな予算が必要となりましたらまた補正をお願いする場合もあろうかというふうに思います。

それとこの体制確保事業の国庫補助金ですけども、現在のところは、令和3年度は対象となるというふうに考えております。以上です。

○議長（米本 隆記君） よろしいですか。

○議員（6番 池田 幸恵君） 議長、6番。

○議長（米本 隆記君） 6番 池田議員。

○議員（6番 池田 幸恵君） 2点、お伺いします。

1点目は、商工関係の分です。新型コロナ感染対策事業について、対象者がですね、鳥取県が実施する助成事業を申請している場合はとあるんですけども、これは申請しなくても可能であるのかどうか。以前同じ名前でも、県のほうでも町のほうでも補助が助成でありましたが、それを受けた方でも可能なのかどうかということが1点と、もう1点はですね、子育て世帯、生活支援特別給付金についてです。これはですね、申請で必要なものと、申請が必要でないものとに分かれるとのことの説明でしたが、申請が必

要な方は、中でも6月以降の所得が分からないと対応が出来ないという説明がありましたけれども、この申請が必要な方への周知方法は、いつ頃からどのような方法でされることを予定されてますか。お願いします。

○企画課長（源光 靖君） 議長、企画課長。

○議長（米本 隆記君） 源光企画課長

○企画課長（源光 靖君） お答えします。まず商工関係の補助金につきましては、県の補助事業への申請が条件ということは全くございません。町だけの申請での受付の予定でございます。以上です。

○福祉介護課長（池山 大司君） 議長、福祉介護課長。

○議長（米本 隆記君） 池山福祉介護課長。

○福祉介護課長（池山 大司君） この子育て世帯生活支援特別給付金でございますが、こちらのほうの申請が必要な方につきましては、児童扶養手当の受給者、児童手当の受給者、特別児童扶養手当の受給者以外の方、児童手当と特児につきましては、住民税非課税、ではない方になりますが、そちらの方につきましては、申請をしていただくという形のスキームになっております。

で、ただこちらの国の制度が、正確に定まるのが今月末というふうに聞いておりました、その内容はまだ未確定の状態でございますので、その内容が分かり次第、そしてまたこちらのほうの支給等の申請受付等の準備が出来次第、町民の皆さんのほうには広報のほうをさせていただいて、御利用いただければというふうに考えております。以上です。

○議員（6番 池田 幸恵君） 議長。

○議長（米本 隆記君） 6番 池田議員。

○議員（6番 池田 幸恵君） 先ほど質問の中に、私はどのような手段を想定されますかと伺ったんですけれども、その答弁が漏れてたと思いますが、どうでしょうか。

○福祉介護課長（池山 大司君） 議長、福祉介護課長。

○議長（米本 隆記君） 池山福祉介護課長。

○福祉介護課長（池山 大司君） これにつきましては、対象者の方を特定できるわけではございませんので、町報、そして防災無線という形で対応させていただこうかと思えます。

○議員（6番 池田 幸恵君） 議長。

○議長（米本 隆記君） 6番 池田議員。

○議員（6番 池田 幸恵君） やはり忙しく働かれて、家にはおられない方も多々いらっしゃると思います。防災無線、じゃあその時間に在宅しているかどうか、やはり確認できるものではありません。でも広報、紙媒体、例えば SNS、町が行っている SNS、できるだけ使って全ての手段で皆さんに周知をお願いしたいと思います。

ちょっと確認ですけれども、商工関係のほうです。例えば県のほうに申請しなくても可能だと言われることでした。ということは、この町が定める対象者っていうところ、枠に収まれば、どなたでも大丈夫ということでしょうか。確認です。

○企画課長（源光 靖君） 議長、企画課長。

○議長（米本 隆記君） 源光企画課長

○企画課長（源光 靖君） 要綱の定めについてはこれから最終調整に入りますが、そのような考えで進める予定でございます。以上です。

○企画課長（源光 靖君） よろしいですか。

○議員（7 番 門脇 輝明君） 議長、7 番。

○議長（米本 隆記君） 7 番 門脇議員。

○議員（7 番 門脇 輝明君） 何点か質問させていただきます。

まずコロナワクチンの接種体制についてですけれども、高齢者接種に対しては非常に順調にいておられて非常に喜んでおります。ただ、今後が 65 歳以下の方も接種に向かっていくわけですけれども、どうなるんだろうかっていう声を聞きます。今、詳細はなかなか出来ないでしょうけれども、今考えていらっしゃる体制、大まかな方向性でも聞かせていただければと思います。このまま集団接種でやるのか、あるいは医療機関による個別接種でやるのか、あるいは職域接種に任せるのか、いろいろな方法があると思いますので、お聞かせいただければと思います。

それからコロナ関係以外のほうで、また何点か教えていただきたいと思います。

一つは収入のほうで、企業誘致費の関連だと思えますけれども、雑入が 4 ページですか 3 ページですね、81 万 3,000 円上がっております。この内容を教えていただきたいと思えます。

それから、後 6 ページの衛生費、塵芥処理費、旅費についてですね、内容を見てみますと、岡山市までの往復およそ 300 キロ以上のところを 1 人で運転して出張するような経費のように読めます。長距離になります。経済性だけではなくて、職員の心身の負担、あるいは交通事故の危険性などを考えると、公共交通機関を利用するように出張命令をするのが、妥当だと思いますけれども、特別な事情があってやっているのか、あるいは、公用車を使用する内容に根拠、あるいは基準というものがあれば、教えていただきたいと思えます。

ただ同じく塵芥処理費の負担金についてですけれども、それぞれ講習の委託を受ける費用が載っておりますけれども、これは多分、労働安全衛生法に基づく、講習を受ける必要があるということで挙げられてると思えますけれども、今、4 月から現在まで任用されている職員の方は、クリーンセンターの中でそういった資格を持っていたらいい方は、いらっしゃらないのかな。あるいはまた、会計年度任用職員の採用に当たって、そういう資格が保有していることが条件にできなかったのはなぜかなという疑問があります

のでお答えいただきたいと思います。

○健康対策課長（末次 四郎君） 議長、健康対策課長。

○議長（米本 隆記君） 末次健康対策課長。

○健康対策課長（末次 四郎君） 64歳以下の方々への接種ですけども、集団接種、個別接種もございます。方法としまして。そういったところを含めて今検討しているというところでございます。以上です。

○企画課長（源光 靖君） 議長、企画課長。

○議長（米本 隆記君） 源光企画課長

○企画課長（源光 靖君） 商工費の雑入 81万3,000円についてのお問合せでございましたが、こちらにつきましては、予算書の6ページ、歳出のほうをごらんいただければと思いますが、こちらの企業誘致費で同額で測量等委託料 81万3,000円を上げております。

これにつきましては買い取りを希望される事業者のほうに測量費にかかった実費相当分を納入いただくということで通常お願いをしておりますので、そのものを歳入のほうに上げているところでございます。以上です。

○住民課長（永見 明君） 議長、住民課長。

○議長（米本 隆記君） 永見住民課長。

○住民課長（永見 明君） はい。塵芥処理費のクリーンセンター運営費の旅費でございますが、公共交通機関でしなかったのかという御質問でございます。

これにつきましては岡山への旅費ということで公用車での出張ということで想定をしております。その講習の時間的にですね、特に公共でしなかった理由が特別ということではないんですが、ある程度それほど長距離ではないということと、時間的にですね、その講習の時間に合わせていって帰ることができるということから、公用車ということで請求をさせていただいたところですよ。

また、特別講習のところでは資格を持った職員がいないかという御質問でございますが、特別講習としては3点ございまして、クレーン運転につきましては、以前3月まで行っていた職員ともう1人の計2人でございましたが、1名が退職されまして新しくこのたび1月から会計年度任用職員が入っていただいております。その職員ともう1人ですね、従来おりました職員を受けさせるということで、2名でございます。

また、安全性講習につきましては、新しい新任の職員を受けさせるということ、また、危険物の取扱いにつきましては、従来ですと2名職員おったわけですが、このたび、おる職員で安全管理のために受けさせるということでございます。

また任用のときにそういった要件をつけなかったのかということでございますが、なかなか、その条件を全てつけますと、該当する方がほとんどいないということが想定されますのでそういった要件はつけておりません。以上でございます。

○議員（7番 門脇 輝明君） 議長。

○議長（米本 隆記君） 7番 門協議員。

○議員（7番 門脇 輝明君） ワクチン接種の今後の予定については、現在検討中ということですが、大体計画が定まってくるのは、アナウンスできるのはいつ頃というふうに考えておられますでしょうか。

それから、旅費については、はっきりした基準、あるいは根拠はないけれども、そういった形で、それぞれ上司が判断したということですが、1番心配するのは、途中の交通事故等でございます。そういった部分において、やっぱりきちとした根拠を持って、出張命令を出すべきではないかなあと思うわけですが、どう考えていらっしゃいますでしょうか。

ただ、採用に当たって、資格条件をつけなかったということですが、資格条件をつけずに出せば、幅広くないわけですが、町の要求としてはやっぱりそういう資格を持った人に来ていただきたい。特に、クレーン操作とか、まかり間違えば、事故が起きかねない、そういった部分において、無資格者を採用して、あとでやりながら仕事をやりながらとっていただくというのはどうなのかなあ。一応資格条件をつけて、無ければ仕方がないから、そういった無資格者も取って訓練をするというのは分かりますけれども、その辺のお考えは、将来に向かっての話になりますけれども、いかがでしょうか。

○健康対策課長（末次 四郎君） 議長、健康対策課長。

○議長（米本 隆記君） 末次健康対策課長。

○健康対策課長（末次 四郎君） 64歳以下の方々への接種につきましてですが、現在高齢者の方の集団接種が大体7月の中旬ぐらいでは終わるのでなかろうかと。それ以降で若干受け入れる方もいらっしゃいますけれども、大きいところではそうかなというふうに考えております。64歳以下の方につきましては、それ以降、引き続き何らかの形で接種ができるような形でのごアナウンスをやっていきたい。お知らせをしたいというふうに考えております。以上です。

○住民課長（永見 明君） 議長、住民課長。

○議長（米本 隆記君） 永見住民課長。

○住民課長（永見 明君） 県外への出張についての根拠をとということでございますが、町のほうとしましてはその時々と言いますか、その状況によって、公用車あるいは公共交通機関での使用ということの出張でございます。なかなかその基準を設けるとするのは、いろんなケースがございますので、ちょっと難しいのかなというふうには考えますが、その時々によってですね、判断してまいりたいというふうに思います。

また今の資格条件ですね、資格条件につきましては、いろんな資格がありまして、その資格をつけてということもですね、採用の状況の中で言えるかどうかというところは

検討したわけですが、なかなかその、今回三つですね、講習を受けるということですが、三つを全て備えたというところはですね、恐らくおられないのかなというふうに考えております。

またその条件によってはですね、今、その資格を持つものしか例えばクレーンは扱っておりませんので、安全面で言いますと今のところは問題がないということですが、その資格資格によってですね、その辺の基準というものも考えてまいりたいというふうに考えております。

○議員（7番 門脇 輝明君） 議長。

○議長（米本 隆記君） 7番 門脇議員。

○議員（7番 門脇 輝明君） ワクチン接種については、7月以降に、64歳以下の方の接種が始まるので、それまでという話ですけれども、7月以降になってから、すぐアナウンスしてすぐ始めますよってというわけにはならないと思いますので、その辺りの町民への広報ということもあります。そういった形で、いつごろまでにその計画を立てていこうと思っておるのかということをお聞きしたかったわけですが、残念ながらお答えがなかったようです。

それから、出張命令の件ですけれども、基準はないけれども、その時々、当然、基準がなければ、その時々判断せざるを得ないわけですが、特別、数が少ないから、そのときそのときで判断すればいいということがございますけれども、大体の基準、大体の目安というのはですね。やっぱり、誰が判断するにしたって、判断基準の一つとなると思いますので、そういうことを作っておかれるべきではないかなと思いますけれども、お考えを再度お伺いしておきたいと思います。

それから、資格ですけれども、三つの資格、全部を持っていらっしゃる方は少ないというふうに言われましたけれども、ホームページなんかを見れば、そういった資格は比較的取りやすい。そして、就職をするためにはこういった資格があったら有利ですからぜひ取ってほしいな、そういったページがたくさん目につきます。そういう意味では、率先して資格条件を付けるのも、そういった採用される、しないにかかわらず、有利な条件になっていくと思いますので、そういったことも考えるべきではないでしょうか。いかがでしょうか。

○議長（米本 隆記君） 旅費の条件につきましては、これは町長の方の答弁とさせていただきます。

○副町長（小谷 章君） 議長、副町長。

○議長（米本 隆記君） 小谷副町長。

○副町長（小谷 章君） 私のほうからですね、まずワクチンの予定のほうにつきましてですけれども、実際に高齢者接種をやっていて、県のほうからもワクチンの配分といったところも含めて、まだそこまでしか、実際のところは来ておりません。それ以降の、

順調に入ってくるのであろうとは推測はしておりますけれども、具体的にでは、いつどれだけのといったようなものもない状態ですので、まだ、それがいつごろ示されるかというところは明確に分かっていないといったところ、それから県のほうもですね、米子と鳥取のほうに、直営の接種会場を設けるといったような情報も入っております。そういった状況等を、まだ未確定要素がある中でございまして、それがいつ、どういう形で確定するのかといったところも、なかなか、ここで決まりますからということが言えないので、ちょっといつ出しますというところは、そこが明確になってくれば、なるべく私どものほうとしても早め早めにですね、準備をしていきたいと思っておりますので、明確に、いつまでだということを答えるというのはちょっと御勘弁をいただきたいと思っております。

それから、旅費の件でございましてけれども、大まかな基準ということでおっしゃって、いただいているわけですがけれども、実際に細かくここならOKというようなところも、例えばその荷物があるであるとか、本当に鞆一つだけであるとかっていう状態もいろいろありましょし、公共交通機関が、便利に行けるところ、またそうでないところ、いろいろ事情もあるわけですし、そこはなかなか、基準と申しまして、なかなかこう複雑に絡んでくる案件もありますので、個々にちょっと対応を検討させていただければと思います。よろしくお願いたします。

○住民課長（永見 明君） 議長、住民課長。

○議長（米本 隆記君） 永見住民課長。

○住民課長（永見 明君） 募集要件でございしますが、今後どういった資格が必要になるかというようなところもございしますので、それぞれ検討させていただいて、その募集要件の中に入れる必要があるかどうかということは考えさせていただきたいというふうに考えます。

○議長（米本 隆記君） そのほか質疑ありますか。

○議員（2番 西本 憲人君） 議長、2番。

○議長（米本 隆記君） 2番 西本議員。

○議員（2番 西本 憲人君） まずですね、名和クリーンセンター運営事業の件についてなんですけれども、岡山まで資格を取りに行かれるということで書いてあるんですけど、岡山の今コロナの警戒地域に入ってる最中だと思いますけれども、町の業務として行かれるのであれば、帰って来られた際のPCR検査など、この辺は予定してないでしょうか、まず1点目。

すいません、先ほどから何度も出てるんですけど、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業の件についてなんですけど、やはりこの委託料が私も少し気になりまして、委託人数、運送会社等に頼むということも、先ほど伺ったんですけど、人数も。この県内の人材派遣会社だというふうに伺ってるんですけど、例えば県外の人材派遣会社に委託

して、その人材派遣会社が県外からスタッフを集めてくると、これまた感染のリスクを伴うんじゃないかなというふうに思うんです。

昨年、一時、持続化給付金のキャラバン隊が、商工会企画で都会から来られたことがあると思うんですけど、私が、今ちょっと把握してる限りでは、純粋な町民の感染者は、ただいまゼロだと思うんです。ただ、この事業を行うために、外部から人が来るのは仕方ないにしても、そこに対する安全の確保っていうのをしっかりした上、できれば、今コロナで困ってる人がいるんで、町内の人に先に頼むとかそういったこともなかったのかなというふうに、人数で100人、200人という規模じゃなくてですね。6人、10人っていうぐらいの規模ですんで、町内でも仕事がなくなって困ってる方いるんでそういうところには聞かれてないのかなというふうに思います。よろしいですか。お願いします。

○住民課長（永見 明君） 議長、住民課長。

○議長（米本 隆記君） 永見住民課長。

○住民課長（永見 明君） 今の旅費の関係でございますが、岡山への出張ということでPCR検査は予定はしていないかという御質問でございます。岡山で予定をしておりますのが、安全性講習ということで、7月の下旬に実施の開催予定でございます。そのときまでに警戒が解けてないということであればですね、その出張自体を、どうするかという判断をさせていただきたいというふうに考えております。

○健康対策課長（末次 四郎君） 議長、健康対策課長。

○議長（米本 隆記君） 末次健康対策課長。

○健康対策課長（末次 四郎君） 接種会場運営スタッフの委託業務の件でございますけれども、場合によってはスタッフの方は県内の方で、そういった人の移動によった感染リスクの、ということがございました。業務を発注するに当たりまして、その辺も注意をして、業者とも確認をしまして、リスクはない形での発注の形をとりたいというふうに思います。それと併せまして、町内の方でもというお話もございました。いままでも会計年度職員さんでさせていただいておりますけれども、ある程度、なかなか時間、いろいろな事情をそれぞれお持ちでいらっしゃる。そんな中、その接種時間の初めから最後まで、努めていただく、そういった人材を確保するという面では、やはり人材派遣の業者に頼んだほうが確実な面がございまして、このたび人材派遣の業務を出させていただきたいということで、予算を要求させていただいたところでございます。以上です。

○議員（2番 西本 憲人君） 議長。

○議長（米本 隆記君） 2番 西本議員。

○議員（2番 西本 憲人君） PCR検査7月までということは理解出来ました。7月に、もし警戒が解けなければ、止めるということで理解出来ました。

今のスタッフ数、県外の方を注意して人材派遣会社の方に頼まれるというのは、注意ではなくてですね、せっかくコロナのワクチンのために、事業開始するのに、そこでリ

スクがかかるようなことは、注意ではなくてですね、条件として、もし、町外、県外の人材派遣の会社の方が来られるのであれば、しっかりと条件という形でやった上で人材派遣の会社の人に頼むことがいいと思いますし、町の方、いろいろありますのでその時間がとれないというのは、どこまで聞いてそれを確認されたのかなど。1度でも募集があった上で、それをされているのか。どこでそういうふうに判断されてるのかなというふうに思うんですよね。お願いします。

○健康対策課長（末次 四郎君） 議長、健康対策課長。

○議長（米本 隆記君） 末次健康対策課長。

○健康対策課長（末次 四郎君） 最初に、人材派遣の発注の件ですけども、条件の一つとして、加えた上で発注を行いたいというふうに思います。

それと、町内の方への雇用の話ですけども、今までも、パートタイムの会計年度職員さんを募集をして、お願いしたところでございますけれども、実際、仕事の時間とか、人数的にも、個々にそれぞれ個別にどなたかと話をした上でやってるかと言われましたら、その点はしておりません。ただ、今までパート職員さんを募集を公募しまして、させていただいた中で、なかなか仕事の時間と、あと人数の確保報が一律にまとまった形での確保が出来ないというような状況がございましたので、このたびは、人材派遣の業者さんをお願いをしたいということでございます。以上です。

○議員（2番 西本 憲人君） 議長。

○議長（米本 隆記君） 2番 西本議員。

○議員（2番 西本 憲人君） 先ほどほかの議員さんから出てましたけれど、まあこのシステムのことであったり、今回のこの人材派遣の方に頼むことであったり、本当に今コロナで不要不急の外出だったり制限されてる状況で、町内の人も事業者さんも困ってるんで、手間は掛かるかもしれないですけど、外に振ってしまえば簡単だと思うんですけど、できるだけ町内の人たちにそういう仕事だったり、事業の機会を与えていただければなど、ほかの事業に対しても思いますのでまたよろしくお願いします。以上です。すいません。質問にしないといけない・・・。終わりです。駄目ですか。

○議長（米本 隆記君） いいです。では、質疑を終わります。そのほか質疑ありますか。

○議員（12番 近藤 大介君） 議長、12番。

○議長（米本 隆記君） 12番 近藤議員。

○議員（12番 近藤 大介君） 商工関係で何点かお尋ねしたいと思います。

飲食店支援事業ということで、事業者の方への補助メニューが予算化されておりますが、確認なんですけども、飲食店にホテル、旅館などは含まれるのか、含まれないのかということの確認が1点とですね、それから、デジタル化支援のメニューで、上限15万円の補助が出るということのようなんですけども、飲食店のデジタル化というのと大体どのような取組に支援がされるのかという、幾つか例示をしていただければと思います。

それから、事業継続支援と、飲食店の事業継続支援ということですが、これについて、昨年度も同様の取組があったと思うんですけども、昨年助成を受けた事業者の方にも、今回対象となるのかどうなのか。それから、例えば、飲食店でお弁当のメニューをつくられたところのパッケージ費用で利用されたところがあるかと思うんですが、もう去年作ったものが全部無くなったっていうようなところもあろうかと思えます。パッケージを作り直しますというような、もしくは買い直しますというようなものにも、助成がされるのかどうかということの御説明をお願いしたいと思います。

それからもう1点、今回は飲食店を中心に助成がされますが、既に、宿泊事業者等へも様々な支援がされております。商工関係でですね、宿泊、飲食以外にも、大小ある、コロナの影響を受けておられる事業者あろうかと思うんですけども、そういったその他の事業者への支援の必要性について、今どのような状況認識をしておられるのかということの説明をお願いしたいと思います。

○企画課長（源光 靖君） 議長、企画課長。

○議長（米本 隆記君） 源光企画課長

○企画課長（源光 靖君） 商工関係の御質問にお答えいたします。

まず、飲食支援の部分でございますが、これ飲食の許可を受けておられるような事業者でございましたら、例えばホテルとか旅館等も対象にできればと考えております。

またデジタル化支援の例えばの例ということでございますが、例えばこの際に、キャッシュレス化の、例えばカードリーダーとかシステムを入れられるとか、そういったものも対象にできればと考えておりますし、それを入れたことによる、例えばこういうのがこの店には使えますよというような広告宣伝を関連でされる場合は、そういうものも対象にできればと考えております。

あと事業継続支援についての御質問です。こちらにつきましては昨年受けられた方が、同じ内容で、また新たに申請ができるかという内容だったかと思えますが、これについてはできる方向で調整を考えております。

あと飲食中心ということで、それ以外のところの認識というような御質問だったかと思えます。こちらにつきましては町内の事業者の景況感とか状況を把握しながら、必要に応じて対応はまた別途考えていくことも必要なのかなと思えますが、特に、大山町商工会さんのほうで、現在町内の事業者の会員中心ではございますが、状況等きめ細やかに聞き取りをしておいでの状況ですので、そちらのほうからの情報提供も受けながら、また状況判断をしてみたいと思えます。以上です。

○議員（12番 近藤 大介君） 議長。

○議長（米本 隆記君） 12番 近藤議員。

○議員（12番 近藤 大介君） はい、了解しました。関連してですね、財源についてお尋ねしたいと思います。

今回の商工関係の支援だったり、ワクチン関係、国からのコロナ対策のそれぞれ交付金等のメニューを財源にしているというふうに思うんですけども、コロナの関係の交付金ですね、財源の状況ですよ。結局、商工の関係の分は何次の補正を財源に使っているのか、財源のゆとりが、今どんな感じになっているのか、その辺の歳入の部分についての説明を少しお願いしたいと思います。

○財務課長（井上 龍君） 議長、財務課長。

○議長（米本 隆記君） 井上財務課長。

○財務課長（井上 龍君） 失礼します。まず財源ですが、新型コロナ臨時交付金、これの交付限度額、これが6億6,200万ですね、約ございます。昨年ですけど、68の事業で、交付金として5億1,400万使用しております。また今年、令和3年度の当初予算で、2,150万予算計上しております。で、現在残ったところは約1億2,000万程度ございます。今後、これを活用した事業を、6月補正なり、今後、事業を盛り込んでいきたいというふうに考えております。以上です。

○議員（12番 近藤 大介君） 了解しました。

○議長（米本 隆記君） そのほか質疑ありませんか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（米本 隆記君） 駄目です。ほか質疑ありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（米本 隆記君） 質疑なしと認め、これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（米本 隆記君） 討論なしと認め、これで討論を終わります。

これから議案第54号を採決します。お諮りします。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○議長（米本 隆記君） 起立多数です。

したがって、議案第54号は原案のとおり可決されました。

ここで休憩にします。再開は、11時15分とします。

午前11時6分休憩

---

午前11時15分再開

日程第4 議案第55号

○議長（米本 隆記君） 再開します。

日程第4、議案第55号 令和3年度大山町国民健康保険診療所特別会計補正予算（第1号）を議題とします。

提案理由の説明を求めます。竹口 大紀町長。

○町長（竹口 大紀君） 議案第 55 号 令和 3 年度大山町国民健康保険診療所特別会計補正予算（第 1 号）については、新型コロナウイルスワクチンの集団接種を実施するために必要な人件費の補正を行うもので、既定の歳入歳出予算をそれぞれ 229 万 2,000 円増額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ、3 億 3,437 万 6,000 円とするものです。

以上で、提案理由の説明を終わります。

○議長（米本 隆記君） これから質疑を行います。質疑はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（米本 隆記君） 質疑なしと認め、これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（米本 隆記君） 討論なしと認め、これで討論を終わります。

これから議案第 55 号を採決します。お諮りします。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔 賛成者起立 〕

○議長（米本 隆記君） 起立多数です。

したがって、議案第 55 号は原案のとおり可決されました。

---

#### 日程第 5 議員派遣について

○議長（米本 隆記君） 日程第 5、議員派遣についてを議題にします。

会議規則第 127 条の規定により、お手元に配布しておりますとおり、5 月 31 日に湯梨浜町で開催される、令和 3 年新議員・新任議会事務局長・職員研修会に、小谷英介議員、西本憲人議員、豊哲也議員、島田一恵議員を派遣するものであります。

お諮りします。議員派遣をすることにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（米本 隆記君） 異議なしと認めます。

したがって、議員派遣することに決定しました。

---

#### 閉会宣告

○議長（米本 隆記君） これで本臨時会の会議に付された事件はすべて終了しました。

会議を閉じます。

令和 3 年第 4 回大山町議会臨時会を閉会します。

---

○局長（野間 光君） 互礼を行います。ご起立ください。一同礼。着席。

---

午前 11 時 18 分閉会

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するため、ここに署名する

議 長 米本 隆記

署名議員 豊 哲也

署名議員 島田 一恵

